



NPO法人
南信州

おひさま進歩通信

NO.14

発行

2016年3月7日

自然エネルギー大学 いいよキックオフ!

二月十四日に、飯田自然エネルギー大学のキックオフイベントとして、シンポジウム「エネルギーの自立で拓く!地域の未来」を飯田市役所で開催しました。

飯田市をはじめ県内、県外から約一二〇名にご来場いただき、賑やかに開催することができました。

飯田自然エネルギー大学は、地域主導型の自然エネルギー事業に取り組む起業者の育成を目的に、今年春の開校に向けて準備を進めています。



自然エネルギーの学びの場として、地域はもろろん、全国各地からの期待の高まりを感じます。

開会式では、先日グランプリが決定した「飯田市で一番古い冷蔵庫を探せコンテスト」の表彰式を行いました。

飯田市内から一〇一件の応募があり、その中でグランプリに輝いたのは中央通りにお住まいの松澤さんご夫婦が結婚前から使われていたという、一九六四年製、東芝冷蔵庫でした。五二年も前のものが現役で動いている事に驚くばかりです。



奥様は『8人家族が食卓を囲み、この冷蔵庫で子どもを4人育てたの...』と、当時の様子を懐かしみ、お話しくださいました。

古いものに感謝し、そのエネルギーを見つめることは、“いらぬ電気は

使わない”等、できることから始められる省エネの取り組みにつながります。日ごろから、エネルギーのこ

と、環境のことを想って過ごせたらいいですね。

シンポジウムでは、前半にラウパツハ・スミヤ ヨーク先生(立命館大学経営学部国際経営学教授)による講演会「エネルギー地産・地消・地有く再・省エネで地域コミュニティを元気に」。後半は、全国各地域で自然エネルギー事業に取り組む事業者の事例発表会が行われました。

自然エネルギー事業が地域の経済や雇用とも密接に繋がっていること、自分たちが暮らす地域で何ができるのか、その可能性に目を向けて頂く機会になりました。



三穂省エネ講座

二月二十六日に、三穂の環境委員で計画して下さった、省エネ講座「家電のエコを学ぶ省エネ講座」を開催しました。講師はおひさま社 森岡です。

今回は、一年で最も電気使用量が多くなる冬の暖房に焦点を当て、電気料金の考え方についてKWhの解説からスタートし、機器ごとの暖房にかかる費用を比較。省エネのコツを縦軸・横軸のグラフで説明しました。省エネグッズや、暖かく過ごせる工夫なども紹介し、できる事から始めてみましょう!と呼びかけました。

イベント情報

◇南信州間伐材活用フェア

日時: 3月13日(日) 10:00~15:30
場所: 南信州・地域産業センター
地域の財産を活用した「暮らし方・住まい方」のヒントがみつかる!!

◇飯田市主催

「ISO14001 自己適合宣言」
「環境モデル都市選定」 記念講演会

「進む温暖化に地域としてどう取り組むか」

日時: 3月17日(木) 18:00~19:30
場所: 飯田市役所

◇エネルギー大学開校式・第1回講義

日時: 5月28日(土) 13:00~
場所: 旧飯田測候所